

赤門とは何か－歴史と建築の視点から

2024年12月11日(水) 18:00-20:00 参加無料・オンライン開催

東京大学150周年事業として「ひらけ！赤門プロジェクト」が始動しました。この地の200年を見てきた赤門の歴史をあらためて知り、東京大学の次の150年を拓くシンボルとしての赤門と、その周辺をはじめ本郷キャンパスの未来をどのように描くのか。2つの講演と座談会で紐解きます。

プログラム

18:00	開始 理事・副学長・社会連携本部長 津田 敦 開会挨拶
	講演Ⅰ 「赤門周辺の歴史的環境～ 200年の軌跡と奇跡」 准教授 松田 陽
	講演Ⅱ 「時間と空間を紡ぐこと」 教授 千葉 学
	休憩
	座談会 「赤門と刻む、 東京大学の次なる150年とは。」 津田 敦・千葉 学・松田 陽 進行役：加藤 耕一
	質疑応答 開会挨拶
20:00	終了

講演者紹介



松田 陽 (まつだ・あきら)

東京大学大学院人文社会系研究科准教授(文化資源学研究室)。ユネスコ本部文化遺産部コンサルタント、英国イーストアングリア大学世界美術・博物館学准教授を経て、現職。専門は文化遺産研究、パブリックアーケオロジー。文化庁文化審議会委員。



千葉 学 (ちば・まなぶ)

建築家。東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授。専門は建築設計、都市環境デザイン。1960年東京生まれ。2001年千葉学建築計画事務所設立。2013年より現職。主な作品は、日本盲導犬センター、工学院大学125周年記念総合教育棟、著書『人の集まり方をデザインする』等。



進行役：加藤 耕一 (かとう・こういち)

東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授。キャンパス計画室長。専門は西洋建築史・建築理論。『時がつくる建築リノベーションの西洋建築史』(東京大学出版会、2017)で、サントリー学芸賞、日本建築学会賞、日本建築史学会賞を受賞。

参加方法

YouTube配信

右記、二次元コードよりご視聴ください。

